

政治資金規正・透明化推進を求める意見書

政治家によるあっせん収賄事件、不正献金疑惑、不透明な政治資金の收受など政治とカネをめぐる問題によって、国民の政治不信は著しく高まっている。とりわけ、政治団体間における巨額な政治資金のやりとりが野放しになっていることや、法の規制を逃れるためのいわゆる迂回献金疑惑に極めて強い批判が出ている。このままでは、政治を担う者の資質が問われるだけでなく、国民の政治への不信感を払拭することがますます困難なものとなる。

一度失われた政治への信頼を取り戻すため、政治資金の規正と透明化の推進が喫緊の課題である。そのためには、政官業の癒着構造を断ち切ること、政治資金の実態をガラス張りにして国民の厳しい監視のもとに置くこと、政党運営の透明性を高めていかなければならない。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、政治とカネの関係を正し、政治資金の透明化を図るため、以下の諸施策を実行されるよう強く求めるものである。

記

- 1 政治団体間の寄附に制限を設けること。
- 2 いわゆる迂回献金の禁止規定を設けること。
- 3 政治資金収支に対し外部監査を導入すること。
- 4 一定額以上の寄附の過失による収支報告書への不記載に対する罰則を創設すること。
- 5 「普通預金等又は現金に係る収支報告書への記載」を義務づけること。
- 6 提出報告書等の保存期間の延長及びインターネットによる公開をすること。
- 7 公共事業受注企業からの政治献金を禁止すること。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成16年12月22日

三鷹市議会議長 久保田 輝 男